

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
平成12年2月14日 第46報  
水質科

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	11		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	17		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1300		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	210		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	39		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	30		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	90		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	160		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	50		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	81	3.8	6.3
(珪) 珪藻綱	1736	82.4	77.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.9	0.8
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	9.5	12.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	70	3.3	2.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2107	総体積	7.39E+05
種類数	18	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	640

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
肉質虫類 <i>Raphidiophrys pallida</i>	180

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

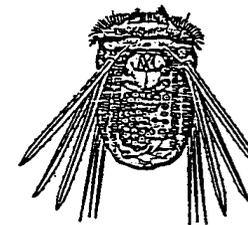
### 植物プランクトン第1優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

殻面は円形でその直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。多数が鎖状に結合して群体を形成している。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:  
植物プランクトンは引き続きヒメマルケイソウが最も多かった。昨年度も、この時期に同種が1000細胞/ml以上見られた。しかし、一昨年度は100細胞/ml程度と少なかった。